ご安全に！

基幹労連の工藤です。今後、その時々に考えていること、伝えなければならないことなどを発信してまいります。当然、インターネット上に配信されるわけですから、不特定多数の方々が見られると思いますが、主に組合員のみなさんを意識した組織内部のものとして書いていきます。

**今回は、現在国会で審議されている労働者派遣法の改正についてです。**詳細は是非、機関紙１０月号を見て頂きたいのですが、最大のポイントは派遣期間の制限が無い「専門２６業務」とそれ以外の業務の区分けを取り払うことであり、**生涯派遣で働ける制度となっていること**です。

これは、我々ものづくり産業にとっても極めて大きな影響を与えてくると思われます。基本的にすべての職場で派遣社員に置き換わっていく可能性のある制度です。我々ものづくり産業は、２度のオイルショックや「鉄冷え」「造船不況」など、過去にすさまじい不況を経験してきました。その当時の労使では、何とか企業を守り、雇用を守る努力を労使がお互い真摯に話し合い、不況を乗り越えてきました。この背景には**企業は社員の持つ技術・技能を守ろうとし、組合も雇用を守ろうとする思いが一致したから**だと思います。このような労使慣行も破壊しかねません。

考えてみてください、みなさんが今行っている仕事の肝が３年で身に付くでしょうか？班単位に行動することの多い我々の職場において、どんどん人が変わっていく事が、よい成果を導きだすことに繋がるでしょうか？特に経験年数５年未満の災害の多い基幹労連の職場で安全を担保することができるでしょうか？

今回の改正は少なくとも、ものづくり産業の事を全く考慮していない改正案だと思います。戦後日本は奇跡的な復興を遂げ今日にあります。**資源の乏しい日本がこれまで発展できた背景は人材力すなわち「人の力」だと確信しています。**今、行わなければならないのは、安心して働くことのできる環境づくりです。また、グローバルで活躍できる人材づくりです。少子化、高齢化、さらに人口減少社会にまで突入した日本が更なる悪しき格差社会に突入しようとしています。基幹労連も連合や民主党と連携し改悪阻止に向け活動していきますが、圧倒的大多数の与党と対峙するためには、みなさん**一人一人の行動が必要不可欠**であります。連合を中心に全国各地で集会がありますので是非ご参加ください。

以　上

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　２０１４年１１月５日　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　日本基幹産業労働組合連合会中央執行委員長　工藤 智司